

公益社団法人 横芝光町シルバー人材センター

令和8年度 事業計画

1. 基本方針

令和7年度は長い間猛暑に見舞われ、作業が困難な日々が続きました。会員の皆様におかれましては、体調維持に大変ご苦労されたことと存じます。今後も地球温暖化の影響が強まることが予想されます。そのような外的要素も加わり、今後の作業の在り方を見つめ直さなければいけない時期に立たされているのかもしれません。

さて、令和8年度の事業計画としては、そのような事象を踏まえ下記のとおり、計画を立ててみました。

2. 事業計画

1. フリーランス新法に即した契約方法の実施

令和8年度4月1日より、フリーランス新法による契約を実施いたします。年明け早々準備を進めて、予定どおり期日には間に合うものと考えております。当初は、トラブルや連絡の行き違い等が発生する可能性があります。皆さんのご協力のもと新しい形の仕組みづくりができ上げれば一歩前進できるものと考えております。

2. 独自事業の開拓

歴史が浅いせいもあり、当センターは東総地区 7 センターの中でも就業率が低く、長年の課題となっておりました。仕事を紹介しても、いろいろの諸事情によって働けない方や、免許を返納し行動範囲が著しく制限されている方々などにとっての就業機会創出は喫緊の課題です。例えば

【ものづくり系】

手工芸品の製作、縫製、編み物、美術・芸術、木工などの作業や、会員が製作した小物類を、直営ショップやイベント会場で販売します。売れた場合のみ報酬(配分金)が得られる参加型の事業です。

【リサイクル系】

自転車のリサイクル、粗大ごみのリサイクルや、剪定で出た枝葉のチップ化(土壌改良に利用)、廃油を利用した石鹸づくりなどを行います。

【販売系】

地元野菜、手作り品、リサイクル品、総菜などを店舗等で販売します。

【農業系】

遊休地、休耕地、を活用し、野菜、果物、花などを栽培、運営ショップ等で販売します。

【福祉サービス系】

幼児の一時預かり、学童保育、高齢者のデイサービスなど、福祉職経験のある会員を中心に運営していく仕組みづくりも考えられます。

以上のような特徴と可能性を有する SC の独自事業をあげました。

しかし、その周辺には少なからず課題もあります。公益団体である SC が独自事業に取り組む際には、事業運営上リスクと向き合わなければなりません。この点が、独自事業を行う上での最大の問題であります。

3. 会員拡大事業への取り組み

令和 7 年度におきまして、在籍する会員の見直しを実施いたしました。ひとりひとりに現状の置かれた状況や、就業への意欲などを聞き取りした結果20数名の方が退会しました。就業率の向上にはつながりますが、減少した会員数を重く受け止め、地域社会と連携しながら会員200名を目標に、ポスティング等による勧誘活動を強化してまいります。また、こまめな入会説明会などを展開していこうと思います。

4. 適正就業ガイドラインの遵守

ここ数年、発注者向け、会員向けの就業ガイドラインを冊子にして、説明しながら周知に努めてまいりましたがまだまだ満足のものではありません。今年度4月1日よりフリーランス新法による新しい契約の在り方が変わります。これを契機に役員が先頭に立ち、職員、会員の皆様が共通認識のもとで取り組みを推進してまいります。

5. 事故ゼロ運動を組織全体のテーマとして取り組む

県内を見ても重篤事故の件数が増加しており、対岸の火事では済まされない状況になっています。保険適用にも変化が見られ、草刈り機による飛び石などで仲間の車などに損傷を与えた場合は、保険の適用外になります。

また、通常の事故の場合でも50,000円の支払いが事故を起こした会員の負担になります。このような状況を踏まえ、センターとして具体的な安全対策を強化します。こまめに講習会などを行い、ひとりひとりに徹底した自覚を促し、マニュアル作成も必要と考えております。定期的にイベントを開催し、事故ゼロ運動を盛り上げてまいります。無事故の先には会員皆様の笑顔と共働共助の世界が広がるものと確信しております。

最後に本年度定時総会を機に執行部が一新され、新執行部でのセンター運営に代わります。新体制のもとより一層信頼されるセンター運営に努めまいります。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。